ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2730
MIYAZAKI & KAGOSHIMA

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

奉仕を通じて
平和を
田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

夢・誇り・挑戦
すばらしいロータリーへの再生

天孫降臨

天照大御神の命により地上の支配を命じられた天孫邇邇芸命は
天の岩戸に関わった祭祀を司る氏族の祖「五伴緒」を伴い
真床追なる産着に覆われて降臨する。
途中、上は高天原、下は葦原中国を照らす猿田彦の出迎えを受け、
五神の一人、眼力に優れた天宇受売にその本意を糺させる。
猿田彦は一行を地上に案内した後、伊勢に下り漁労神となる。
真床追は現在も天皇即位の儀礼「大嘗祭」の祭具として使われる。
つまり、即位とは産着を纏って天孫降臨を再現し
新天皇自らが邇邇芸命となって誕生することなのである。

国際ロータリー第2730地区
2012−2013年度
ガバナー　山下　皓三

3
2013

今月の表紙
鹿児島西ロータリークラブ会員
株式会社 シイツウ
代表取締役社長 深尾兼好会員に描いていただきました。

新「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記

「ロータリーの目的」の４つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、ＲＩ理事会の意見が一致した。（ロータリー章典26.020）

目次

頁

1　ガバナー挨拶

3　ＩＭを終えて
　日向ロータリー･クラブ　会長　坂本　淳一

5　「ロータリーの友」活用状況調査結果報告
　ロータリー雑誌小委員会　委員長　上村　國博

7　2012－2013年度 国際ロータリー第2730地区VTT小委員会報告
　VTT小委員会　副委員長　米丸　麻希子

9　2012～13年度　国際ロータリー第2730地区ローターアクト
第41回 地区年次大会報告
　国際ロータリー第2730地区　RA地区代表　福永　千裕（鹿児島西RAC）

11　米山記念奨学生決まる
　米山奨学寄付・選考小委員会　委員長　長嶺　貴臣

11　米山奨学生歓送迎会のご案内

12　公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会　1月の寄付金傾向

13　12月出席率報告

14　トピックス
　加治木ロータリー・クラブ
　鹿児島ロータリー・クラブ
　鹿児島城西ロータリー・クラブ

15　お知らせ ／ 2012−13年度　下期日程

16　訃報 ／ 入退会報告

17　文庫通信　306号

「人道的奉仕の重点化と増加」から見えてくるもの

国際ロータリー第2730地区
2012～2013年度　ガバナー
山　下　皓　三

3月9日は会長エレクト研修セミナー（PETS）が開催されます。皆さんのクラブにおいては「効果的なクラブになるための活動計画の指標」の準備は出来ているでしょうか。
ガバナー公式訪問の時に、「１．ロータリーのことをもっと知ってもらうための包括的研修体制づくりとクラブ研修リーダーを育成する　２、RI戦略計画を理解し実践する　３、ロータリー財団の未来の夢計画を理解し活用する　４、クラブ・リーダー・シップ（CLP）についての理解をして導入を検討する」これらを実践することで、効果的なクラブとしてクラブの活性化が出来ると説明してきました。各クラブの最大の課題は会員増強でした。

会員増強をするためには、これらの説明したことを実践することで成果が上がると考えています。PETSを有意義なものにするには、再三、申してきましたがクラブの目標設定のセッションが設けられていますので、「効果的クラブになるための活動計画の指標」をクラブ全体で協議することを推奨します。

先月の２月号ガバナー挨拶では、「クラブのサポートと強化」について考えを述べました。今月は「人道的奉仕の重点化と増加」について述べてみたいと思います。

国際ロータリーの優先項目が次の五つとなっています。

（１）　ポリオ撲滅（最優先課題）
（２）　未来の夢（RI戦略計画・未来の夢計画）
（３）　ロータリー・クラブ・セントラル
（４）　会員増強
（５）　人道的支援

上記（２）の未来の夢をRI戦略計画と未来の夢計画で実現していこうという考え方です。「人道的奉仕の重点化と増加」の目標は ①ポリオを撲滅する。②新世代奉仕プログラムとロータリー財団の６つの重点分野における奉仕の継続性を高める。③他団体との協力や繋がりを深める。④地元や海外社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する、ことです。

未来の夢計画はロータリー財団の新しい補助金体制のことです。これまでよりも事務手続きの合理化と簡素化を図ることによって、効率を高め、ロータリーの６つの重点分野に絞って大きな成果を上げることができます。これによってクラブと地区への支援も更に効果的に行なうことができます。

６分野とは、「平和と紛争予防／紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率の向上」「経済と地域社会の発展」のことです。

この６分野は、ロータリアンが大きな関心を持ち、積極的に取り組んできた分野です。これらの分野に活動を集中させることで、会員の積極的な参加と大きな成果が期待できます。それに、奉仕プロジェクトの立案とニーズへの取り組みの指針となります。このような指針に沿って活動することで、ロータリーは、人道的奉仕の分野における国際的リーダーとして認識されるようになれると考えられています。

即ち、未来の夢計画（新補助金制度）は奉仕活動の実施主体となるべきクラブ、複数クラブ、あるいは地区と複数クラブが、ニーズ調査・企画立案・予算案から実施・評価・継続の全過程に関与することで、望ましい、ロータリーらしい奉仕活動を真剣に考える態度を生む契機にすることができるからです。

ロータリーでは、さまざまな国、文化、職業のリーダーが結びつき、世界中の地域社会のためにアイデアを交換し、行動を起こしています。それが、RI戦略計画とロータリー財団の未来の夢計画であり、「人道的奉仕の重点化と増加」へと繋がっています。

ロータリー・クラブについて、日本では「会員相互の交流によって自己改善を図ると共に背景としての地域社会に貢献する異業種の集まり」という伝統的考えがあります。一方、RIの主たる理解では「人道的奉仕活動の世界的ネットワークを構成する一単位」としています。このことに対する誤解が日本でのRIの会員としての自覚を欠いた批判と無関心や地区の要請に対する反発や拒絶になっているのではないかと思われます。

望ましい奉仕プロジェクトとは、公共イメージの強化に最も貢献できる奉仕活動を展開するための地域社会への呼びかけと地域住民との協働による実施です。そして、窓口と企画は担当委員会で、実施はクラブ全体で行います。ロータリー家族や地域社会の青少年や住民を巻き込んで奉仕活動を展開することです。

RI戦略計画と未来の夢計画を推進するためには委員会の連携と事業の継続なしには出来ないことを理解しておかなければなりません。「人道的奉仕の重点化と増加」を図るためには地区やロータリー・クラブの組織がDLPやCLPの考え方を推奨していることが理解できると思います。

ＩＭを終えて

日向ロータリー・クラブ
会長 坂 本 淳 一

去る、１月26日(土)、我が日向ＲＣは、無事、ＩＭを終えることができました。

当初、開催するかしないのか日程が決まらずハラハラの連続でした。

開催することが確定したのが昨年１０月中旬で、それから急遽、委員会を立ち上げ、行動を開始した訳ですが、立ち遅れた分、会員には相当プレッシャーがあったと思います。しかし、一旦行動を開始すると会員数23名と少ないクラブではありますが、「一つ土俵で」を合言葉にお互いの情報を共有しながら、企画担当者は、『奉仕を通じて平和を』という大きなテーマにどう取り組むか、設営担当者は来場者にどのようなおもてなしで喜んでいただくことができるかなど考え、総務担当者は全体の動向を把握したりと、日を追うごとに、会員の目の色も変わり、検討に検討を重ねるなかで、クラブ全体が活性化し、当日を迎えました。

その結果、最後の講評では、地区研修リーダーの伊藤学而パスト・ガバナーから「こんなＩＭのやり方があるのかと驚いた、本当に素晴らしかった」とこのうえないおほめの言葉をいただき、日向クラブの会員一人ひとりの力というか、底力を改めて実感し大変感動いたしました。会員の皆様には感謝、感謝です。

個人的には、当初は、「なんで俺が会長の時にＩＭなんだ」と思っていました。なぜなら、ホスト・クラブ会長の「歓迎の言葉」が悩みの種だったからです。

前日のリハーサルでも、客席にはだれもいないにもかかわらず、セリフは忘れるし、声は緊張で上ずってしまい、周りの会員からは落ちつくようにと注意をうけていたのです。ところが、当日は不思議なことに、破れかぶれのくそ度胸といいましょうか、開き直りとでもいいましょうか、落ち着いた気持ちで、しかも、もう少ししゃべりたいぐらいの余裕をもつことができました。今、終わってみると、「あの素晴らしいＩＭは俺が会長の時だったんだ」と、私の人生において、このうえなく素晴らしい記念になったなぁと思っています。ご尽力いただいた皆様、そして、ご参加いただいた皆様にお礼申しあげ、報告といたします。

☆ ロータリー 原点を勉強

国際ロータリー第2730地区の合同勉強会「インターシティミーティング」が日向市中央公民館でこのほどあった＝写真。県内26クラブから約260人が出席した。

「奉仕を通じて平和を」をテーマに開催。日高培郎実行委員長が「ロータリアンの原点は職業奉仕。ロータリーに関する認識や概念、価値観を、会を通してさらに共有することができれば」とあいさつした。

インド国際子ども村「ハッピーバリー」の大神のりえ代表が「心の中に平和の砦（とりで）を」と題して講演。また、「どうしたら奉仕を通じ平和につなげることができるか」というテーマで全体討議があり、ロータリーの活動を今後も続け、子どもたちへの教育支援をさらに強化することを確認した。

2月19日（火） 宮崎日日新聞

ＩＭで問題提起された際に上映された映像での北方中学校３年生 宇佐見正志君の作文(P4)です。ぜひご一読願います。

長崎の鐘

北方中学校3年　宇佐見　正志

８月６日午前８時15分、８月９日午前11時２分、８月15日正午、テレビから流れる「黙祷」という声に合わせ、今年は僕も１分間の祈りを捧げました。１分間の黙祷のうちに消えた命の多さ、長い戦いの末迎えた終戦に安堵した人々の思いなど、平和に対する思いを考えてみました。

日本は唯一の原爆被災地として、いつも世界に向けて、平和のメッセージを送り続けています。

今年、僕は初めてメッセージを受け取りに長崎に旅行へ行きました。原爆落下中心地とその北側に、世界平和を願って造られた公園があり、その中央の大きな平和記念像が目を引きました。「天を指す右手は原爆の脅威、水平に伸ばした左手は平和を示し、閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈る」姿として、そびえていました。

また、世界各国から贈られた平和の像が立ち並び、水を求めてさまよった少女の手記がきざまれた「平和の泉」が清らかな水を噴き上げ、涼しさをかもしだしながら溢れんばかりに満ちていました。

僕はそれらの前で一瞬、猛暑の中でも風を感じ、亡くなった人々の悲しい思いにつつまれてしまいました。一瞬の閃光によって奪われた命。その時人は何を思ったのだろう。まさか、自分が死ぬんだという感覚はあったのだろうか。自分の意志とは関係なく奪われた命の多さ、残虐な行為は戦争が犯した悲しい行為の何物でもないことを、公園の風景が物語っているように思いました。

今、生かされているのは当然のことではなく、家族や社会の庇護の下、守られているのだと思いました。長崎で過ごした夏は僕にとって、平和の大切さと、これからの平和存続のために何をすべきかを問われたように感じられました。

新聞やテレビなどでしか知らないけれど、戦争は他国ではまだ、繰り返されています。僕は、その記事に目をつむるのではなく、年の差もない少年が自分の意志に関わらず、銃を持たされ、戦っていることなどを、知らなくてはならないと思いました。

僕は、戦争という武力の前では、無力です。しかし、自分の回りの平和を安心に変え、暮らしていくことはできると思います。僕は、僕をとりまく人々に対して、言葉を選び、お互いが傷つけあうことを避け、信頼できる関係をつくることからできる、小さな平和が大きな平和の一つにつながっていくのではないかと思います。長崎からのメッセージは、世界恒久平和です。僕は、人間の信頼関係から生まれる、平和へのメッセージを発信できる人間になりたいと思っています。

長崎で感じた風は、僕に平和を考える心をくれました。僕は、その時に得た思いを、僕の平和のメッセージとして発信したいです。

「ロータリーの友」活用状況調査結果報告

ロータリー雑誌小委員会
委員長 上　村　國　博

平成24年10月に「ロータリーの友」の活用状況調査を実施いたしました。とりまとめました結果をご報告いたします。

概　要

回答率　43／64　（67.2％）

1.「ロータリーの友」をクラブ内、例会などで活用していますか。

a	していない	10／43　（23.3％）
b	したいが方法がわからない	0／43　（　0％）
c	している	33／43　（76.7％）

2.「ロータリーの友」を地域（クラブ外）で活用していますか。

a	していない	27／43　（62.8％）
b	したいが方法がわからない	1／43　（　2.3％）
c	している	15／43　（34.9％）

2. クラブで「ロータリーの友」への寄稿を奨励していますか。

a	していない	30／42　（71.4％）
b	したいが方法がわからない	2／42　（　4.8％）
c	している	10／42　（23.8％）

実際行っていることをご記入ください。（抜粋）

★　担当者が例会の時に紹介している。

★　新入会員の勉強用資料として使用したい。

★　愛読している会員が気になった記事を例会で紹介。

★　例会・ロータリー情報勉強会及び各委員会炉辺会合の場を利用して会員に紹介。

★　入会3年未満の会員を対象に、月一回例会前に行っている勉強会でロータリーの友を活用したりしている。

★　毎週の例会、情報委員会が内容を紹介し、それをもとに会話を弾ませている。

★　会長の時間や会員卓話の中で、記事を引用させていただくことがある。

★　委員会報告として記事を引用・紹介。

★　特に、新入会員に対して、ロータリーについての勉強手段として活用するよう推奨している。

★　クラブ担当者が興味ある記事を「ロータリーの友」配付時、例会において紹介し一読を勧めております。また、今年度は週報にも「ロータリーの友」お奨め記事のコーナー

を設け、頁と欄の名前を紹介することにしています。また年度当初にクラブ会員に週報と「ロータリーの友」を家族の目に入りやすい場所に保管し、一読を勧めるようお願いしました。

★ 年度末に担当委員会が注目記事を抜粋して小雑誌を作成し、全会員に配付する予定にしている。

★ 例会時に記事の紹介をする(毎月１回)。

★ クラブの例会で委員長が内容を紹介されるので、記事を読むきっかけになっている。

★ 委員会が例会で内容を紹介・報告する。特に読んで理解して欲しい記事。また、当クラブの会員・クラブで投稿して欲しい内容の紹介。

★ ４月の雑誌月刊で卓話を行い、その時の資料として活用。

★ 毎月委員会が例会で報告している。

★ 関係委員会が紹介する。興味ある記事に気づいた人が紹介する。

★ 例会のプログラムに組み込んで、担当者が簡単な紹介をしている。

★ 時に読んでもらいたいところを指定して、会務報告の時案内する。

★ 市役所・病院などの待合室に置くことを計画している。

★ 会員数減で余った分を、例会にみえた外部の方に広報誌として渡している。
(外部卓話者・学校先生・ローターアクト・米山奨学生・Ｒ財団国際親善奨学生)

★ 毎回ではないが、公共機関等に置いている。

★ 市役所・市立図書館・学校へ配付。各ロータリアンへ配付したものは家庭・事業所に置き、家族・従業員に読ませるよう推奨する。

★ 市（町）立図書館に置いている。

★ ＩＡ提唱高校へ配付。市役所など公共機関へは３ＲＩ順番制で配付している。

★ 市役所・航空基地・大学・記者クラブ・新聞社・図書館・高校などに送付し、ロータリーへの理解を深める一助としている。

★ 地域の事業所に配付している。

★ 地域の中学校・高校に配付している。郵便局・金融機関・公的機関などの待合室に置いている。

★ 以前は公的機関などに置いていたが、会員増により余分な「友」がない。

★ 会員の職場に置いている。

★ 友好クラブに送っている。

★ 他クラブの投稿を紹介し寄稿を奨励している。

★ ＷＣＳでフィリピンの小学校に深井戸を作った件について、及びその後の経過について。

★ 寄稿を積極的に行うことを活動計画の中に盛り込み、取り組んでいる。

★ 例会で奨励している。(数件)

★ 歌壇に投稿した事例有り。

★ 時々は個人的にもお願いしている。

2012−2013年度 国際ロータリー第2730地区
VTT小委員会報告

VTT小委員会　副委員長 米　丸　麻希子

2013年2月3日　13:00～15:30　開催場所：上川イングリッシュスクール(鹿児島市)
出席者：赤塚晴彦財団委員長(鹿児島サザンウインドRC)・上川咲男委員長（鹿児島南RC)
米丸麻希子副委員長(国分RC)・久保田巌洋委員(奄美RC)
佐藤信博委員(延岡RC)・川畑宏二委員(鹿児島西RC)

● VTT 上期報告

2013年−2014年度　大迫三郎ガバナー年度VTT プロジェクト名
有機農業を通して「世界の子供たちに安全な食材を」

山下ガバナー、大迫ガバナー、赤塚財団委員長の合意の下、2012年11月にドイツRID1950ガバナー・エレクト、バーント・コブ氏とVTT上川委員長との間で交換研修内容、訪問・派遣時期等を決定した。

●予算について

2013年−2014年度　VTT予算
355万円(人頭分担金235万円＋GG地区補助金120万円)

＊受け入れに関して

期間3週間、2013年9月28日(土)鹿児島着～10月5日(土)鹿児島発。
■ドイツ RID 1950 バイエルン・チューリンゲン
■チームリーダー、キャロリン・ウルリッヒ(ロータリアン）／メンバー 4 名、計 5 名。
■日程

①鹿児島県姶良市	9月28日(土)～10月 5日(土)	担当：米丸副委員長
②宮崎県綾町	10月 5日(土)～10月11日(金)	担当：佐藤委員
③地区大会	10月11日(金)～10月13日(日)	担当：上川委員長、米丸副委員長
④鹿児島県奄美大島	10月13日(日)～10月15日(火)	担当：久保田委員
⑤鹿児島市内	10月15日(火)～10月18日(金)	担当：川畑委員

検討事項

・各受け入れ先クラブの費用分担を明確するため、前回のGSEでの経費を参考に予算を立てる。
・ホストファミリーへの謝礼費を明確に表示する。
・受け入れ担当RC各ガバナー補佐にVTT受け入れを正式に要請する。

＊派遣に関して

期間３週間前後、2014年6月5日(木)出発 ～ 26日(木)帰国予定、6月21,22日に行なわれる地区大会に参加予定。

■派遣リーダー

月信及び山下ガバナー、大迫ガバナー･エレクト、64クラブ会長、幹事、国際奉仕委員長宛に案内状を出し応募者の中からVTT委員会が決定する。

■４名のメンバー

基本的に男女２名ずつ、宮崎県から２名鹿児島県から２名。

■派遣メンバー決定までの流れ

①２～3月：準備期間　②４月：告知開始　③５月上旬：ＶＴＴ委員会にて書類選考
④５月中旬：ＶＴＴ委員会にて面接試験　⑤５月末：リーダー及びメンバー決定

■選考方法

リーダー・メンバー共にVTT委員会で選考する。
※リーダーは４月末までに決定し、５月のメンバー面接に参加してもらう。

■選考会場

上川イングリッシュスクール

■資格要件（案）

・鹿児島、宮崎県に居住する満25～39歳（1950地区の希望により）
・英会話能力のある方
・偏見がなく寛容で柔軟性のある人
・堅実で、一般教養を身に付け、知性豊かである人
・明るく協調性があり、ロータリー活動を理解し日本代表にふさわしい人
・有機農業従事者・後継者及び関係者
・日本国籍のある人（原則としてロータリアン直系親族を除く）
・申込み時、常勤勤務者で、帰国後もその職業に必ず留まる意思のある人
・教育的収穫を得る事を望むと同時に、研修の日程に耐え得る能力(体力)をそなえた人

検討事項

■資格要件に関して

①「英語能力がある人」と募集するとそれに尻込みし、広く候補者が集まらないのではないかとの懸念より「英会話能力がある事が望ましいが、ドイツへの派遣が決まったら英語能力を向上させる意思がある方」にしてはどうか？
②「ドイツ語能力がある方」も付け加える。
③「現在有機農業従事者ではないが、将来的に有機農業を採用したいと考えている方」を付け加える。
④「有機農業の流通等に従事している方」を付け加える。

■応募方法に関して

① 各クラブへのプロモーションを徹底させ、各マスコミに告知をお願いする。Facebook等ソーシャルメディアの利用も検討する。
② 受け入れロータリー・スケジュール内容・派遣募集など2月、3月で最終結論を出す。

第41回 地区年次大会報告

国際ロータリー第2730地区
RA地区代表 福　永　千　裕
（鹿児島西RAC）

平成24年12月1日・2日の二日間の日程で第41回地区年次大会を開催致しました。

当日は、ご来賓に松木園富雄鹿児島副市長をお招きし、山下皓三ガバナーをはじめ、古木圭介奉仕プロジェクト部門長のご臨席を賜り、14名のロータリアンの登録と地区内外145名のローターアクトの登録があり、盛大に開催させて頂きました。ご多忙中の中ご参加頂きましたロータリアンの皆様には、深く感謝申し上げます。例年に比べ、ロータリアンのご参加が少なかったのは、私の広報不足だったと深く深く反省しております。

来期も今期同様、ローターアクト地区年次大会を開催する予定ですので、どうぞご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

開会式は副市長とガバナーのご挨拶に始まり、その中で若い世代の人たちが元気に活動することが地域の活性に繋がっていると、今後の活動にエールを贈って頂きました。

大久保亮一実行委員長をはじめホスト・クラブの鹿児島RAC、コ・ホストの鹿児島東南RAC、鹿児島西RAC、鹿児島中央RAC、鹿児島西南RAC、鹿児島城西RACは、半年以上前から準備に入り、当日を迎えました。今回は、「育む未来～その掌で創る～」をテーマとし、私たちよりも若い世代に新たな学びを見せることを根幹に、試行錯誤を重ね準備を進めて参りました。プログラムも昨今では例の無かった、外部団体を招き入れ一緒に活動するというイベントを試みました。ご参加頂きました「愛の聖母園」の子供達には、人との交流の楽しさや新たなことに挑戦する喜びをとおして、視野の広い大人に育って頂ければ幸いです。今大会で作成したマトリョーシカ（ロシアの人形）を、震災孤児施設に送ることも決められており、後日発送を行いました。ここで写真をお見せすることはできませんが、子供達の未来を守るために大変喜んで頂けたとのことでお礼の連絡を施設から頂きました。被災地の子供達にも明るい未来が必ず訪れることを願ってやみません。

そして、国際ロータリー第2730地区のプロジェクトで『福島キッズin鹿児島・宮崎』という素晴らしい企画がありましたが、鹿児島・宮崎を訪れた川内小学校の子供達にも一体プレゼントすることも決まっています。私たちは、今後も益々活動の幅を広げ、一般の方々に私たちの活動を知って頂き、地域に応援される団体になっていきます。そのためにも、仲間集めは必須であり、提唱クラブという器が必要です。今年度内には枕崎RCにローターアクト・クラブ提唱のお話をさせて頂けることが決まっています。私たち自ら、ロータリー・クラブへアプローチをかけさせて頂かなければならないと思っています。

是非、温かい眼差しで今後もお見守りください。

国際ロータリー第2730地区ローターアクト
第41回地区年次大会

米山記念奨学生決まる

米山奨学寄付･選考小委員会
委員長 長　嶺　貴　臣

1月13日、都城メインホテルに於いて米山記念奨学生の面接を行い、2013年奨学生が決まりました。

お　名　前	出身国	在籍大学・学部
楊　　潔（ヨウ ケツ）	中国	宮崎大学　医ＹＭ２年
グェン・ティ・ミン・ハン	ベトナム	宮崎大学　医ＹＵ４年
李　知　映（イ ジョン）	韓国	鹿児島大学　歯ＹＵ６年
金　学　范（キン ガク ハン）	中国	鹿屋体育大学　ＹＵ３年(2年間支給)
謝　　偉（シェ ウェイ）	中国	鹿児島国際大学　ＹＭ２年

ハイライトよねやま 155号より

新規ロータリー米山奨学生が決定！

2013学年度・新規米山奨学生の面接選考が各地区で行われ、合格者519人(応募者数：1,532人）が決定しました。

奨学金プログラム別の合格者数は、博士・修士・学部課程奨学金が492人、地区奨励奨学金が10人、クラブ支援奨学金が10人、海外応募者対象奨学金(個人応募)が７人。このほか、海外学友会推薦奨学金が現在選考中です。

また、合格者の国籍・地域別割合は、中国44.3%、韓国15.4%、ベトナム10.0%、台湾4.6%の順となっています。今年は昨年度に比べ、中国・韓国・台湾以外の国籍割合が大きく増加しました。

今後、継続奨学生の辞退などによって合格者数は変動しますが、新規奨学生および昨年度からの継続奨学生を合わせた約700人が、2013学年度米山奨学生となります。

米山奨学生歓送迎会のご案内

米山奨学生終了者８名の歓送会を下記のとおり開催いたします。

日時：平成２５年３月２４日　１６：３０～

会場：鹿児島東急イン（鹿児島市中央町５－１）

※詳細は、お問い合わせ願います。

宮崎北ロータリー・クラブ

TEL：0985-24-4872　FAX：0985-22-0288

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
1月の寄付金傾向

1月分合計額　180,341,677円
累計額　993,969,358円（前年同期比4,890万円増）

参考　前年度1月分合計額：152,495,276円、累計額：945,031,483円

普通寄付金

1月当月　140,698,920円
1月末累計　363,044,357円
（前年度比　6.97%増）
（　〃　2,360万円増）
（予算達成率　90.8%）

普通寄付金下期分は1,752クラブ（77%）から納入されました。（昨年度は68%、1,548クラブ）尚、上期、下期ともご寄付いただいていないクラブが173あります。6月の年度内にはご送金くださいますようよろしくお願いいたします。

普通寄付金納入状況・上期分
（納入数／クラブ数）

地区	納入数／クラブ数	納入割合	地区	納入数／クラブ数	納入割合
2500	33／66	50%	2610	46／66	70%
2510	40／72	56%	2620	57／78	73%
2520	46／81	57%	2630	74／80	93%
2530	49／68	72%	2750	63／85	74%
2540	24／42	57%	2760	71／82	87%
2550	32／50	64%	2780	46／63	73%
2560	47／57	82%	2640	51／74	69%
2570	41／52	79%	2650	67／97	69%
2770	62／75	83%	2660	70／83	84%
2790	72／84	86%	2670	54／74	73%
2800	46／52	88%	2680	65／74	88%
2820	48／59	81%	2690	59／67	88%
2830	34／41	83%	2700	51／61	84%
2840	44／47	94%	2710	62／74	84%
2580	55／71	77%	2720	57／75	76%
2590	52／61	85%	2730	42／64	66%
2600	49／56	88%	2740	43／57	75%

合計：納入数 1,752RC
地区ロータリークラブ数　2,288RC
普通寄付納入実績 1月31日現在、当会入金分

特別寄付金

1月当月　39,642,757円
1月末累計　630,925,001円
（前年度比　4.17%増）
（　〃　2,530万円増）
（予算達成率　70.1%）

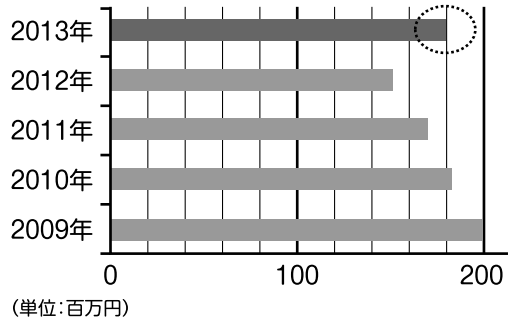
1月末累計額は前年同期比4.17%増、約2,530万円の増加となり、ここ5年間では3番目に多い寄付額となりました。（下記棒グラフ参照）ロータリアンの皆様に厚く御礼申し上げます。

これから各地区でPETSが開催されます。当奨学事業につきましても事業内容を周知していただくために、ご説明くださいますようよろしくお願い申し上げます。

創立記念寄付クラブ（単位：万円）

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2600	長野東	100	2610	白山	20
合　計		2クラブ		120	

特別寄付金比較（1月単月分）



（単位：百万円）

RI第2730地区 12月出席率報告

地区	クラブ名	出席率	会員数			
		%	12／12／1	12月末	女性	増減
宮崎県北部（7RC）	延岡	83.10	70	75	6	5
	延岡東	99.25	47	49	0	2
	延岡中央	91.50	53	55	4	2
	日向	78.13	24	23	2	−1
	日向東	90.06	34	32	5	−2
	日向中央	71.88	17	17	2	0
	門川	76.19	8	7	0	−1
	平均及び合計	84.30	253	258	19	5
宮崎県中部（9RC）	宮崎	94.37	90	97	6	7
	宮崎西	94.04	79	81	6	2
	宮崎北	94.62	67	67	9	0
	宮崎南	78.79	32	33	5	1
	宮崎中央	86.71	46	47	7	1
	宮崎東	73.91	23	22	1	−1
	西都	90.32	24	23	1	−1
	佐土原	81.80	23	22	2	−1
	高鍋	83.80	46	49	1	3
	平均及び合計	86.48	430	441	38	11
宮崎県西部（7RC）	えびの	84.78	22	24	4	2
	小林	89.70	37	34	1	−3
	小林中央	90.90	11	11	0	0
	都城	84.28	54	54	5	0
	都城北	97.28	46	50	5	4
	都城西	97.56	47	48	2	1
	都城中央	82.20	31	31	4	0
	平均及び合計	89.53	248	252	21	4
宮崎県南部（3RC）	日南	92.00	32	33	1	1
	日南中央	85.53	19	17	0	−2
	串間	72.22	16	18	1	2
	平均及び合計	83.25	67	68	2	1
鹿児島県北部（7RC）	出水	72.28	41	46	3	5
	阿久根	85.39	46	49	9	3
	川内	80.90	54	59	0	5
	薩摩川内	85.00	24	26	3	2
	串木野	85.71	7	7	0	0
	宮之城	81.94	16	18	4	2
	大口	78.21	20	20	1	0
	平均及び合計	81.35	208	225	20	17
鹿児島県西部（5RC）	伊集院	74.49	26	26	2	0
	加世田	100.00	1	2	0	1
	枕崎	78.33	21	21	1	0
	頴娃	81.03	29	29	0	0
	指宿	86.06	32	30	1	−2
	平均及び合計	83.98	109	108	4	−1
鹿児島県中部（5RC）	霧島	84.00	20	20	0	0
	国分	97.60	49	52	8	3
	国分中央	83.87	26	31	2	5
	加治木	100.00	31	34	3	3
	姶良	77.36	18	17	1	−1
	平均及び合計	88.57	144	154	14	10
鹿児島県東部（8RC）	鹿屋	91.16	41	46	3	5
	串良	85.15	36	36	1	0
	鹿屋西	90.40	59	60	10	1
	志布志	71.67	21	21	2	0
	かのや東	87.34	41	42	0	1
	きもつき	74.07	28	29	0	1
	南九州大崎	44.44	27	27	0	0
	志布志みなと	78.49	31	31	1	0
	平均及び合計	77.84	284	292	17	8
鹿児島市内（10RC）	鹿児島	76.90	61	61	0	0
	鹿児島南	69.72	42	42	3	0
	鹿児島西	88.38	79	79	0	0
	鹿児島東南	80.20	31	29	0	−2
	鹿児島中央	70.55	55	57	4	2
	鹿児島西南	76.92	13	13	1	0
	鹿児島城西	76.77	31	32	4	1
	鹿児島東	79.31	22	21	2	−1
	鹿児島北	89.36	23	25	2	2
	鹿児島サザンウインド	91.09	48	48	10	0
	平均及び合計	79.92	405	407	26	2
鹿児島県奄美（3RC）	奄美	84.80	59	59	0	0
	奄美中央	71.15	49	53	4	4
	奄美瀬戸内	76.00	25	25	1	0
	平均及び合計	77.32	133	137	5	4
全体の平均及び合計		83.25	2,281	2,342	166	61

トピックス

加治木ロータリー・クラブ▶

（平成25年2月14日（木）　南日本新聞掲載）

姶良市の加治木ロータリークラブ（RC）は3月3日午前10時～午後3時、同市の加治木福祉センターで初の無料相談会を開く。さまざまな分野の職業人の集団であるRCの特徴を生かし、市民の困りごと、悩み相談に幅広く応じる。

法律、医療、金融、DV…

来月3日無料相談

加治木RC

同RCメンバーは医師や弁護士ら専門性の高い職業に就いている人が多い。市民からの要望もあり、「その道のプロ」を活用して地域に奉仕しようと相談会を計画した。

相談内容は法律、医療、福祉、保険、金融、労務、葬祭、税務、セクハラ・パワハラ・DVを想定。当日は約20人が待機し、個室で個別に応対する。内容次第では、より詳しい専門家を紹介する。

弁護士ら対応

「相談したくてもどこへ尋ねればいいか分からない、という人が多い。気軽に足を運んでほしい」と鈴木俊二会長。2月18日まで申し込みを受け付けるが予約なしでも相談は受ける。前田貴彦法律事務所＝0995(55)7700、ファクス同(55)7701。

「気軽に相談に来て」と語る鈴木俊二会長（左）と弁護士の前田貴彦さん＝姶良市加治木

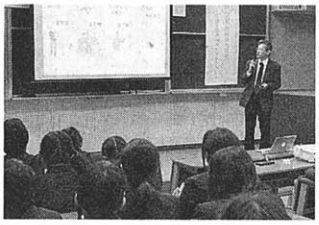
▲鹿児島ロータリー・クラブ

（平成25年2月9日（土）　南日本新聞掲載）

性教育講演会で思いやる心訴え

日置・鹿城西高

日置市の鹿児島城西高校で7日、思春期の性行動や性感染症などをテーマにした講演会があった＝写真。鹿児島大学院医歯学総合研究科の内田洋介助教(49)が話し、「性行為を急がず、自分と相手を尊重した人間関係づくりを」と呼びかけた。



軽度の知的障害のある生徒が学ぶ普通科共生コースの約50人や保護者ら約70人が参加した。内田助教は望まない妊娠や性感染症のリスクなどを紹介し、「相手を思いやる気持ちと心のつながりを大切にして」と強調した。

講演会は鹿児島ロータリークラブが主催。年1回、発達障害をテーマにした講演会などを開いている。

◀鹿児島城西ロータリー・クラブ

（平成24年9月23日（日）　南日本新聞掲載）

少年サポーターを表彰

鹿児島城西ロータリークラブ（赤崎安隆会長）は18日、青少年の健全育成活動に携わる「大学生少年サポーター」に対し、「ボランティアサポート賞」を贈った。

同サポーターは、県警の委嘱を受けた学生ボランティア。スポーツ交流や農業体験などで、街にたむろする少年らの居場所づくりに協力したり、放課後児童クラブで小学生向けの防犯教室を開いたりして、健全育成に努めている。

同ロータリークラブ設立20周年を機に創設した同賞は今年で7回目。鹿児島市のホテルであった贈呈式＝写真＝には、志學館大4年の本田皐朔（こうさく）さん(22)と、鹿児島国際大4年の岩田泰亨（やすたか）さん(22)が出席。「受賞で自信がつき、これからの活動にも力が入る」と話した。

▲鹿児島城西ロータリー・クラブ（平成25年1月29日（火）　南日本新聞掲載）

身近な歴史探検 鹿児島城西ロータリークラブ

県内の城学ぶ 県民交流センター

鹿児島城や志布志城など県内の城について学ぶ「鹿児島歴史の旅子ども編　みんなで知る！　身近な歴史探検～城をめぐって」が26日、鹿児島市のかごしま県民交流センターであった＝写真。

鹿児島国際大学と鹿児島城西ロータリークラブが初めて開き、小中学生らが専門家の説明に聴き入った。志布志市教育委員会の大窪祥晃さんは平城と山城の違いを解説。「熊本城や姫路城など天守閣のある平城と違い、山城は山や丘を使った防御のためのとりで。幅の狭い道や土を盛った土塁で敵の力をそいだ」と話した。

鹿児島国際大学短期大学部の三木靖名誉教授は、参加者を鹿児島城が見渡せる6階に案内して当時の様子を説明。志學館中1年の永田玲央君は「城の種類や鹿児島に多くの城があると分かった」と話した。

クラブ奉仕活動が地域へ広報された様子をお伝えしています。
新聞などに掲載された記事と日付・新聞社名等を添えてガバナー事務所までご送付ください。

お知らせ

インターシティ・ミーティング開催のお知らせ

開催日　　2013年3月17日（日）

場　所　　南九州市知覧（知覧文化会館・特攻平和会館）

登録料　　１人＝1,000円　　振込期限　３月８日（金）

振込先　　南日本銀行 加世田支店　店番：500
普通口座　番号：1127400
名義：加世田ロータリークラブ　会計 安田　誠

登録締切り　２月28日

申込先　　加世田ロータリークラブ
FAX：0993－73－1593
E-mail：kudo-densetu@po4.synapse.ne.jp

ホストクラブ　　鹿児島西部分区５クラブ
（指宿・頴娃・枕崎・伊集院・加世田）

2012-13年度 下期日程

※日程表は変更の可能性があります。 必ず最新号の日程表を参考にしてください。

日　付	行　事　予　定	会　　場
3月 9日（土）・10日（日）	PETS　会長エレクト研修セミナー	宮崎観光ホテル
	次期ガバナー補佐研修	〃
	第４回諮問委員会	〃
3月16日（土）	鹿児島ＲＣ 60周年記念式典	城山観光ホテル
3月17日（日）	鹿児島県ＩＭ	知覧文化会館･特攻平和会館
3月23日（土）	鹿児島西ＲＣ 50周年記念式典	サンロイヤルホテル
4月 7日（日）	第４回ガバナー補佐会議	ニューウェルシティー宮崎
	※現・次期ガバナー補佐引き継ぎ会議	〃
	第４回地区運営委員会	〃
	※現・次期地区運営委員引き継ぎ	〃
	第４回部門長会議	〃
5月12日（日）	枕崎RC40周年記念式典	
5月17日（金）・18日（土）	世界平和フォーラム広島	広島
5月26日（日）	2013-14年度地区協議会	宮崎シーガイア
	第１回全部門別全委員会研修会	〃
6月23日（日）・26日（水）	ロータリー国際大会	ポルトガル・リスボン
7月	ガバナー補佐会議報告会（予定）	奄美

訃　報

謹んでご冥福をお祈り致します。

四 元　　洋 氏（鹿児島RC）

平成25年1月3日逝去（享年44歳〔満42歳〕）

平成20年1月25日にご入会され、親睦、会員増強、インターアクト等の委員会でご活躍されました。昨年は12月にお子様が誕生し、大変喜ばれておりましたが、42歳という若さで急逝されました。

中 村　義 幸 氏（きもつきRC）

平成25年1月19日逝去（享年53歳）

1994年11月15日 入会
2002～03年度 幹事　　2006～07年度 会長
ポール・ハリス・フェロー等数々の功績を残されました！

熊田原　正一 氏（日南中央RC）

平成25年1月27日逝去（享年72歳）

1981年7月に入会され、在籍32年。その間1997～1998年度クラブ会長、2005年～2006年度ガバナー補佐をされるなど、常にロータリー・クラブのことを熱心に考え、行動される方でした。

入退会報告

●入会者

ご入会、おめでとうございます。

■上水　正喜（えびのRC）
■丸尾　正利（日南RC）
■西別府　彰（志布志RC）
■盛田　忠光（都城北RC）
■末廣　高史（都城中央RC）
■岩下　真子（宮崎南RC）
■後藤祐治郎（宮崎西RC）
■鈴木　勝志（鹿児島城西RC）
■堂園光一郎（鹿児島西RC）
■三枝　秀司（鹿児島北RC）
■長野　孝吉（高鍋RC）
■森　　和昭（加治木RC）
■相川久仁子（佐土原RC）
■井ノ上一郎（大口RC）
■向高　康徳（宮崎RC）
■岩切　崇徳（宮崎RC）

●退会者

おつかれさまでした。

■中水流潤也（南九州大崎RC）
■桂原　耕一（鹿児島南RC）
■濱嵜　良光（阿久根RC）
■坂元　弘行（かのや東RC）
■大村　知久（志布志RC）
■山下洋一郎（鹿児島城西RC）
■四季　　勝（都城西RC）
■上國料　学（鹿児島サザンウインドRC）
■中屋つや子（鹿児島サザンウインドRC）
■外山　　勝（都城RC）
■上野　貴史（加治木RC）
■寺原　　章（大口RC）

文庫通信 (306号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

最近の「ロータリー情報」より

◎「元気なクラブになるために」　桑原 茂　2012　10p
（D.2550地区大会記念誌）

◎「元気なクラブになるために」　小船井修一　2012　14p
（D.2550地区大会記録）

◎「ロータリーがライラに期待するもの」　深川純一　〔2012〕　6p
（第34回青少年指導者育成セミナー報告書）

◎「品格のあるスマートなクラブ　その1ー3」　深川純一　2012　3p
（純ちゃんのコーナーPartXI）

◎「全国ロータリー・コーディネーターセミナー　抄録」　2012　6p
（D.2500月信）

◎「12月ロータリー家族月間について」　菅野多利雄　2012　1p
（D.2520月信）

◎「ロータリー財団のあらまし　1 ロータリー財団の標語、使命、6つの重点分野
2 わかりやすいロータリー財団モデル　3 新しいロータリー財団」
D.2650　2012　3p
（わたし達のロータリー財団[わかりやすい財団テキスト]）
［上記申込先：ロータリー文庫］

◎「世界からポリオの脅威を救うのは“あなた”です!!」　D.2650　2012　〔7p〕
［申込先：D.2650　FAX（075）343−2651］

ロータリー文庫
〒105−0011 東京都港区芝公園2−6−15 黒龍芝公園ビル3階
TEL（03）3433−6456・FAX（03）3459−7506　http : //www.rotary-bunko.gr.jp
開館　午前10時～午後5時　　休館　土・日・祝祭日

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する

1．すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。

2．職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。

3．高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。

4．他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。

5．社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。

6．若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。

7．ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。

8．事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

四つのテスト

— THE 4-WAY TEST —

言行はこれに照らしてから

Of the things we think, say or do

1．真実かどうか
Is it the TRUTH?

2．みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned?

3．好意と友情を深めるか
Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?

4．みんなのためになるかどうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned?

いい日　白波、薩摩から。

芋は、薩摩。

総裁賞代表受賞※

薩摩焼酎
黒白波

※黒白波は、平成23酒造年度鹿児島県本格焼酎鑑評会にて、最高の「総裁賞」を代表受賞いたしました。

SATSUMA SHOCHU
世界ブランド「薩摩焼酎」には
このマークが付いています。
詳しくはホームページをご覧ください。

薩摩酒造株式会社　www.satsuma.co.jp

飲酒は20歳を過ぎてから。　妊娠中や授乳期の飲酒は、
胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。
飲酒運転は法律で禁止されています。　お酒は適量を。